

平成 25 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 川崎化成工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 池田 滋  
 (コード：4117、東証第 2 部)  
 問合せ先 取締役経営管理部門長 大坪 孝幸  
 (TEL. 044-540-0110)

平成 26 年 3 月期 通期業績予想の修正 (連結・個別) に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において平成 26 年 3 月期 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) の通期業績予想 (連結・個別) を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 26 年 3 月期 通期業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	20,600	210	270	240	6 円 20 銭
今回修正予想 (B)	19,900	70	130	70	1 円 81 銭
増減額 (B - A)	△700	△140	△140	△170	
増減率 ( % )	△3.4	△66.7	△51.9	△70.8	
(参考) 前期連結実績	17,425	3	76	350	9 円 05 銭

(2) 個別業績

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	20,530	270	240	6 円 20 銭
今回修正予想 (B)	19,830	130	70	1 円 81 銭
増減額 (B - A)	△700	△140	△170	
増減率 ( % )	△3.4	△51.9	△70.8	
(参考) 前期実績	17,370	75	351	9 円 07 銭

(3) 業績予想修正の理由 (連結・個別)

平成 26 年 3 月期につきましては、アベノミクスによる景気回復が素材需要にも波及し、当社グループの事業環境も好転することが期待できることから、業績は徐々に回復するものと見込んでおりましたが、第 2 四半期累計期間は既に発表したとおり期首予想を下回る業績となり、第 3 四半期以降も無水フタル酸、可塑剤、パルプ蒸解助剤 S A Q® など主要製品の内需回復は厳しく、期首の業績予想に対し販売数量は減少し、減収となる見込みであります。

損益面においては、販売数量の減少に加え、設備稼働率の低下及び電気料金値上げ等による生産コストの上昇により、各利益段階において期首の業績予想に対し大幅な減益となる見込みであります。

(※) 上記予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上